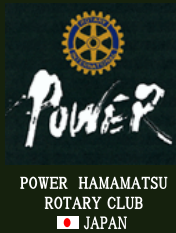


国際0-列-第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

新しい流れを、知恵を集めて

RI 会長 シェカール・メータ/第 2620 地区ガバナー 小林聡一郎 /会長 高貝 亮 /幹事 山下俊彦
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



第888回例会3月29日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：鷺津有一 青山素久 ■点鐘：高貝 亮 ■週報：内田勝善
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」(※音楽のみ)
- ゲスト：静岡県浜松視覚特別支援学校、教育支援相談課課長
五十嵐正吾様 並びに奥様(※卓話者全盲の為 介添え役)
例会見学者 中野雅一様、米山記念奨学生 陳俊達さん

出席報告/スマイル報告

会員数 74 名 (内出席免除会員 3 名)
出席数 60 名 出席率 84.51%

スマイル提出者氏名掲載 (敬称略)
青空例会参加者一同・武田信秀・久野幸太郎・小川善嗣・原田道子・大石莉帆・社会奉仕部会・高貝亮、山下俊彦

会長挨拶

ようやく例会を再開することができ、元気に皆さんとお目にかかることができました。20周年の記念式典まで3週間を切り、各部会では鋭意ご準備を進めていただいております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

さて、以前にもお話しましたが、私は浜松で弁護士登録して以来、外国人の支援に関心をもって様々な活動に参加しておりました。その中で浜松 NPO ネットワークセンター、愛称「Nポケット」さんが主催する外国人労働者の皆さんに対する法律セミナーの講師をお引き受けすることがありました。その後もNポケットさんの活動に参加する中で、2010年に理事に就任しました。

Nポケットは市民による非営利活動をサポートする中間支援団体と呼ばれる組織ですが、みずから取り組んでいる事業としては、自然環境の保護、多文化共生社会の推進、障がい者の就労支援という3つの軸があります。

障がい者の就労支援については、ジョブコーチ(職場適応援助者)といって、障がいを持つ方が企業で就労するに際して、障がい特性に応じた専門的な支援を行い、企業と障がい者の双方に適切なアドバイスをして障がい者の就労を支え職場適応を図るとりくみがあります。現在ではNポケットの事業の中で一番大きなウェイトを占めるものになっています。

Nポケットの役員には障がい者支援の第一人者がおられ、手をつなぐ育成会の小出さんとか、視覚障がい者の分野では斯波さんといった方がおられます。障がい者福祉の最前線で活躍される方ですので、話が非常に実践的で面白く、目からうろこの体験を何度もさせていただきました。また、Nポケットの活動を通じて、これまでに障がい者の就労支援について学んだり考えたりする機会が多くなりました。

そうした機会において、特に印象に残っていることは、特別支援学校の先生方が本当に熱心に熱意をもって取り組まれていることです。

以前に、卓話にも来ていただきました京丸園の鈴木社長のお話です。京丸園さんでは現在は多数の障がいをもつスタッフが就労されていますが、障がい者雇用をされた最初のきっかけは、特別支援学校の先生の熱心さだったとおっしゃっていました。社長は、作業の中で芽ネギをカップから苗床に移し替えるのがかなりコツのいる作業なので、障がいのある人には難しいだろうと思っておられたそうですが、特別支援学校の先生が、定規のような道具を工夫されて、これを使ってやれば障がいがある子でもできます、と示されて驚いたというお話でした。

本日卓話をいただく五十嵐正吾様も視覚特別支援学校で長年にわたり指導にあたられているとうかがっており、お話を大変楽しみにしておりました。五十嵐様、本日はどうぞよろしくお願いいたします。



幹事報告

①レターケースへの配布物…ロータリーの友、ガバナー月信の3月号

②地区大会のご案内

5/21(土)22(日)開催。レターケースへチラシが入っています。

出席対象者の方には直接お声がけいたします。また、ロータリー会員であれば参加は自由です。

クラブからは5/22(日)の2日目の本会議出席者が多数集まればバスを出す予定です。

大会登録料はクラブがもちますので、参加を希望される方はご連絡ください。

③コロナで保留になっていた 授与2名様

・RLI バッチ授与…加藤ひとみさん

④会員手帳 更新時期のご案内

本年もいよいよ会員手帳更新の時期となりました。

変更を申請される方は、レターケース内の申込用紙へ必要事項をご記入の上、

事務局高柳までご提出ください。締切は4/12（火）までです

⑤4月16日開催20周年記念公演のエントリー数は定員500名中365名（3月29日現在）です。引き続き会員の皆様の社員友人ご家族へのお誘いあわせをよろしくお願いいたします。

委員会報告

■財団プログラム委員会 補助金事業で、国際セラピードック協会に清和寮に来てもらい、子どもたちにセラピードックに触れ合う機会をつくる予定でしたが、コロナの影響でオンラインでの開催となりました。2月6日に大木トオルさんに講話をしていただき、施設の子供たちに動物愛護と命の尊さを伝えることができましたと思いますので、ご報告いたします。

■ゴルフ同好会 3月13日に第4回青空例会が開催されました。優勝は武田さん、ベストグロは松本さんでした。5月14日に11ロータリーの親睦ゴルフ大会がありますので、参加される方はご連絡ください。

議事

■五十嵐正吾様 卓話「視覚障がい者に対する工夫、配慮、言葉の大切さ」 担当 社会奉仕部会

裾野市出身。幼稚園、小学校、中学校は裾野市に通っていた。

高校からは現在勤務している浜松視覚特別支援学校に通い寮生活だった。3年間高等部普通科で高校の勉強をして、卒業後は3年間高等部専攻科ではり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の3つの国家資格を取るための実技や座学を勉強した。

卒業時鍼、灸、あん摩マッサージ指圧の国家資格を取得した。

卒業後は5年間函南町の治療院ではり師、きゅう師、あん摩マッサージ師として働いていた。

退職後沼津視覚特別支援学校で働きながら教員免許を取った。

現在学校では、鍼、灸、あん摩マッサージ指圧の国家資格を取るための座学や実技を教えている。

現在の見え方は日光のように強い光を感じる程度。目の前は真っ白に見える。3歳の時進行性の病気が発見され、20歳を過ぎて今の見え方になった。

趣味はスポーツ。現在は陸上で100m、走り幅跳びをやっている。またグランドソフトボールという視覚障がい者野球をやっている。

視覚障がい者への配慮点は次のとおり

1. 知っている人に声をかける時は、自分の所属と名前を名乗ってから話しかける。
2. ヘルプしたくて知らない人に声をかけるときは、「困っていることはありますか？」等と声をかける。
3. 具体的な言葉を使用して説明する。
4. 渡した物が何か説明する。
5. 会話しているとき声をだして聞いていることを表現する。
6. 使った物は元の位置に戻す。
7. 環境が変化した場合は、その都度説明する。
8. 食事の内容や食器の位置を説明する。
9. 視覚障がい者と一緒に歩く時は肩や肘の上をつかんでもらう。
10. 席を外すときや、戻ってきたときは声をかける。

